



わたなべとしお
渡辺利夫

(拓殖大学学事顧問)

人間は 不安の器うつわである

人間は誰だれしも病を不安に思い、死を恐おそ怖おそします。病や死を恐れるのは、人間がよりよく生きたいと考えているからにほかなりません。不安や恐怖を「あつてはならないもの」として、これを排除はいじょしようとなれば努めるほど、人間は抑鬱よくうつと煩悶はんもんにおとしめられます。その典型が神経症けいししょうです。

冒頭ぼうとうの言葉は、日本の精神医学の草創期くわつやくに活躍した医師・高良武久こうらたけひさの言葉です。高良の師・森田正馬もりたまさたけは「不安常住」こそが人生の真実だともいっています。